メールログまたはメッセージトラッキングの「SBRS rfc1918」の意味

内容

概要
メールログまたはメッセージトラッキングの「SBRS rfc1918」の意味
関連情報

概要

このドキュメントでは、Cisco Eメールセキュリティアプライアンス(ESA)/クラウドEメールセキュリティ(CES)のメールログまたはメッセージトラッキングの「SBRS rfc1918」の意味について説明します。

メールログまたはメッセージトラッキングの「SBRS rfc1918」の意味

「SBRS rfc1918」がログに記録されるのは、ESA/CESへの接続メールサーバがインターネットのルーティング可能なIPではなく、プライベートIPから到達しているためです。

RFC 1918によると、プライベートインターネットアドレスは次のとおりです。

```
10.0.0.0 - 10.255.255.255 (10/8 prefix)
172.16.0.0 - 172.31.255.255 (172.16/12 prefix)
192.168.0.0 - 192.168.255.255 (192.168/16 prefix)
```

Cisco ESA/CESは、これらのアドレスのSBRSスコアを照会せず、代わりにSBRSスコアフィールドに「rfc1918」を記録します。

プライベートアドレスのSBRSフィールドの例：

```
Mon Sep 11 12:15:29 2006 Info: ICID 4 RELAY SG RELAYLIST match 192.168.50.7 SBRS rfc1918
Wed Sep 13 10:37:06 2006 Info: ICID 5 RELAY SG RELAYLIST match 192.10.66.71.110 SBRS rfc1918
Wed Sep 13 10:37:56 2006 Info: ICID 6 RELAY SG RELAYLIST match 172.16.1.2 SBRS rfc1918
```

インターネットでルーティング可能なアドレスのSBRSフィールドの例を次に示します。

```
Mon Sep 11 11:58:29 2006 Info: ICID 3 ACCEPT SG UNKNOWNLIST match sbrs[-1.0:10.0] SBRS 5.2
country United States
```

関連情報

- **Cisco E メール セキュリティ アプライアンス：エンドユーザ ガイド**
- **テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems**
- **RFC 1918ドキュメント**

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。